

## ◆ TOKYO強靭化プロジェクト（感染症にも強いまちづくり）事業一覧表（案）

※下線：新規・更新箇所。なお、事業内容等に変更はないが、記載を見直している箇所も含む。

### 【強靭化に向けて2040年代に目指す東京の姿】

■密を避け、安心して集える空間で、都市活動が変わらず展開されている。

・人を中心にリメイクされた公共空間で、混雑状況を確認しながらも、安心して集える都市となっている。

■様々な交通モードを選択でき、誰もが感染リスクを心配せず快適に移動できる。

・充実した自転車利用環境や航路と、次世代モビリティの利用が浸透し、交通手段の選択肢の多様化が進んでいる。

・シェアオフィスやテレワーク環境等の整備が進み、オフピーク通勤や分散乗車等の取組促進により、どの時間帯でも快適に電車利用ができる。

No.	プロジェクト名	施策名	事業名	内容
1	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	人が憩い、楽しく歩けるウォーカブルな都市空間の創出（西新宿地区）	・道路や公開空地等を一体的に再編し、象徴的な賑わい空間を創出 ・次世代モビリティの導入、都庁周辺の空間再編等を推進 ・ウォーカブルな都市空間の魅力を早期に都民等に提供
2	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	人が憩い、楽しく歩けるウォーカブルな都市空間の創出（西新宿地区）	・最先端の通信インフラ等を活用して屋内外問わない快適なワークプレイスを整備
3	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	開発機会をとらえた駅周辺の利便性向上・ゆとりある空間創出	・線路横断自由通路・オープンスペース整備（品川駅、池袋駅、東京駅、新宿駅など）
4	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	開発機会をとらえた駅周辺の利便性向上・ゆとりある空間創出	・地上、地下、デッキレベルでの動線強化・広場整備（飯田橋駅）
5	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	こども目線など新たな視点での空間整備を都市開発諸制度等で誘導	・都市開発諸制度活用方針等を改正し、全天候に対応可能な公開空地の整備等を誘導
6	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	こども目線など新たな視点での空間整備を都市開発諸制度等で誘導	・こども目線など新たな視点での公開空地整備事例等の情報発信
7	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	歩きたくなる歩道へのリニューアル	・歩道舗装等の修景により、まちの景観と調和した歩行空間を創出（2030年度までに19路線、27か所、約18Km工事着手）
8	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	歩行者中心の公共的空間としてのKK線の再生	・全長約2kmの連続性を確保し、緑豊かな歩行者空間を整備 ・周辺まちづくりと連携した段階的整備等により、一部区間の早期開放
9	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	水辺の歩行者ネットワークの早期形成（旧晴海鉄道橋の活用）	・豊洲地区と晴海地区を結ぶ水辺の歩行者ネットワークを形成（2025年度完了）
10	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	住宅団地の再生等に併せた、緑地も含めた誰もが使える公共的空間の整備	・都営住宅の建替えに当たり、周辺建築物の更新と併せ、緑の連続性・一体性に配慮した緑化等を推進（西早稲田駅周辺地区）
11	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	住宅団地の再生等に併せた、緑地も含めた誰もが使える公共的空間の整備	・都営住宅の建替えにより創出した用地を活用し、イベント広場と連続した誰もが自由に使える交流施設等を整備（東京街道団地地区）
12	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	住宅団地の再生等に併せた、緑地も含めた誰もが使える公共的空間の整備	・都営住宅用地を活用し、菜園や花壇の整備・管理を通じて、地域コミュニティを活性化
13	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	様々な都市活動を引き出せる屋外空間の創出	住宅団地の再生等に併せた、緑地も含めた誰もが使える公共的空間の整備	・大規模住宅団地において、未利用地等の活用や住民主体の公園・緑地等の維持管理・エリアマネジメント活動を促進するなど、多様な世代の居住の場として再生
14	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	使い方の幅を広げ空間を更に活用	歩行者利便増進道路等による安心・安全でにぎわいのある道路空間実現	・歩行者利便増進道路を指定し、キッチンカー等による賑わいを誘導（新虎通りなど）
15	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	使い方の幅を広げ空間を更に活用	歩行者利便増進道路等による安心・安全でにぎわいのある道路空間実現	・第五次事業化計画を踏まえ、エリアマネジメント主体や地元自治体等と連携し、沿道の街並みとも調和した道路空間を創出
16	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	使い方の幅を広げ空間を更に活用	道路空間活用の取組の広報・周知（パーク・ストリート東京）	・各地区における取組の一体的広報・周知により、活動を後押し（丸の内仲通り・行幸通り、狛江駅周辺など）
17	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	使い方の幅を広げ空間を更に活用	まちづくり団体登録制度拡充による公開空地等の活用機会充実	・公開空地等の更なる活用に向け、制度や活用状況等の情報発信を強化 ・東京のしゃれた街並みづくり推進条例におけるまちづくり団体登録制度について、面積などの登録要件の見直しを行い、活動機会を拡充
18	01 屋外における都市活動の充実につながるゆとりある空間の創出	人流等データの取得・情報発信によるまちのスマート化	センサーやスマートポール等によるデータ取得及び活用の推進	・Wi-Fiやセンサー等の様々な機能を備えたスマートポールを区市町村等と連携しながら展開し、取得した人流データによるまちの見える化や、サイネージによる情報発信等、防災対策にも活用【再掲】
19	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	利用者ニーズを踏まえた都立公園・海上公園の新規整備	・社会情勢やニーズ等を踏まえた、公園の新規開園【都立公園】 ・2035年度までに都立公園累計2,188haを開園（練馬城址公園、六仙公園など） ・政策連携団体を活用した用地取得体制の強化
20	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	利用者ニーズを踏まえた都立公園・海上公園の新規整備	・社会情勢やニーズ等を踏まえた、公園の新規開園【海上公園】
21	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	新しいニーズを踏まえた海上公園の再生	・新しい日常に対応するため、水辺の魅力を体感しながら快適に利用できるサイクリングルート及びウォーキング・ランニングルートを整備（城南島緑道公園など）
22	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	歴史と文化を伝える都立公園の再生	・誰もが自由に立ち入ることのできる開放的な芝庭広場を整備するなどのバリアフリープロジェクトに着手（日比谷公園）、園路広場や老朽化した施設等を、バリアフリーや多様なニーズを考慮し改修
23	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	民間と連携した公園の整備促進	・都心部において、特許事業などを活用し、民間事業者と連携して、緑あふれる居心地よく利用できる空間の整備
24	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	区市町村が実施する公園・緑地整備の更なる促進	・都市計画公園・緑地の整備を目的とした、生産緑地の用地取得・整備費について、補助規模の拡大等の補助制度充実（生産緑地公園補助制度）
25	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	区市町村が実施する公園・緑地整備の更なる促進	・小規模公園や児童遊園など、都市計画施設以外の公園計画地の用地取得・整備費について、補助率の引上げ等の補助制度充実（緑あふれる公園緑地等整備事業補助制度）
26	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	外濠の水質改善による水辺再生	・都心の歴史的財産である外濠の水辺再生に向け、浄化用水の導水に必要となる施設の整備（市ヶ谷濠、新見附濠、牛込濠。2030年代半ば整備完了）
27	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	隅田川等におけるゆとりと潤いにあふれる水辺空間の整備	・水辺の動線強化やウォーカブルな水辺空間の創出等、隅田川下流域の取組の拡充と上流域への展開などを推進
28	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	河川水辺空間の緑化・水質改善による水辺の利用促進	・都心における貴重な水辺空間である河川の緑化を計画的に推進
29	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	河川水辺空間の緑化・水質改善による水辺の利用促進	・河川のしゅんせつによる水質改善の取組みを継続的に実施
30	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	首都高地下化に併せた日本橋川周辺の水辺空間整備	・首都高地下化事業に併せ、日本橋周辺の再開発（5地区）が連携し、水辺のオープンスペース整備を行い、水辺環境や舟運を生かした国際的な商業・観光エリアを形成
31	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	葛西海浜公園における干潟の保全利活用	・様々な保全活動の拠点、情報発信・交流の拠点となるビジターセンターを整備
32	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	自然環境を活かした特色ある空間の創出	葛西海浜公園における干潟の保全利活用	・野鳥や水生生物等の貴重な生息地である干潟を保全、人々が海と触れ合う空間を創出
33	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	民間の創意工夫により空間を更に魅力的に活用	官民連携による都立公園・海上公園の利活用の推進	・民間活力を生かした多面的な活用を推進し、人が集まり、憩える空間を創出

No.	プロジェクト名	施策名	事業名	内容
34	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	民間の創意工夫により空間を更に魅力的に活用	官民連携による都立公園・海上公園の利活用の推進	・民間の柔軟なアイディアにより、海上公園の魅力を高めるカフェや水辺のリエーション施設等を整備・運営し、更に空間を活用（有明親水海浜公園など）
35	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	民間の創意工夫により空間を更に魅力的に活用	ペイエリアにおける民間と連携した空間づくり	・歩行者中心の道路空間等と海に開かれた建物を一体的に活用し、魅力ある水辺空間を創出（台場地区など） ・民間提案や活力を生かせる仕組みを導入し、公共空間も含めたトータルな視点で、柔軟な活用ができる、ペイエリアならではの空間を創出（シンボルプロムナード公園など）
36	02 開放的で誰もが利用できる公園や水辺の整備	混雑データの情報発信	画像解析による混雑情報提供	・混雑情報のリアルタイム発信により、利用者の利便性等を向上（恩賜上野動物園）
37	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	自転車利用の促進	自転車通行空間の整備推進	・2030年度までに優先整備区間約250km（累計570km）などを整備（都道） ・2040年代までに累計約1,800kmを整備（都道）
38	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	自転車利用の促進	自転車通行空間の整備推進	・臨港道路等について、2030年度までに既存の自転車通行空間と公園等をつなぐ道路など累計約51km整備
39	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	舟運の活性化	船を活用した交通手段の多様化	・通勤等、日常における交通手段として航路の充実を図る ・身近な観光・交通手段として定着するよう、新規航路の開拓をはじめ、認知度を高めるためのPR、船着場周辺でのぎわい創出や利便性の向上に向けた取組を実施
40	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	鉄道の快適な利用促進	スマーズビズの定着・混雑緩和対策の更なる推進	・時差Biz等スマーズビズの定着に向け、動画等による広報活動の展開、鉄道各社における混雑情報アプリなどを通じた配信等
41	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	鉄道の快適な利用促進	スマーズビズの定着・混雑緩和対策の更なる推進	・鉄道事業者等と連携し、時間差料金制など、更なる利用者の分散等につながる混雑緩和対策等の検討推進
42	03 感染リスクの低減にも寄与する交通手段の多様化	次世代モビリティの導入	多様な交通サービスの定着に向けた社会実装（南大沢駅周辺地区）	・最先端技術を活用したまちづくりを推進 ・自動走行モビリティ（自動配達ロボット等）や新たなモビリティサービス（電動車いすシェアリングサービス等のMaaS等）の導入、デジタルサイネージ等による公共交通情報・混雑情報提供、3Dデジタルマップ等によるルート案内などの取組を展開
43	04 徒歩圏内における働く環境の充実	テレワークや生活圏内で働く環境の整備	都市開発諸制度におけるシェアオフィスの誘導	・都市開発諸制度における育成用途を活用したシェアオフィス等の誘導手法について、区市町に対し積極的に普及啓発を図る
44	04 徒歩圏内における働く環境の充実	テレワークや生活圏内で働く環境の整備	既存ビルのリノベーション（機能更新）によるまちづくりの促進	・大規模な都市開発が進む市街地の周辺で、地域のポテンシャルや中小ビル等を活かしたリノベーションなどにより、働き方・住まい方環境の充実やにぎわいの創出強化等を図る取組を促進
45	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	駅周辺等でのサテライトオフィス等立地誘導（集約型の地域構造への再編）	・駅周辺等に商業、医療・福祉、サテライトオフィスなど生活に必要な機能を集積させ、多様なライフスタイルにも柔軟に対応したまちへの再構築を、区市町村への補助制度等により促進
46	04 徒歩圏内における働く環境の充実	テレワークや生活圏内で働く環境の整備	公的住宅の建替え等におけるテレワーク環境等の整備	・都営住宅の建替え等により創出した用地を活用し、商業、医療、福祉等の生活支援機能に加え、住民交流の場やコワーキングスペースなど、誰もが暮らしやすい生活の中心地を形成
47	04 徒歩圏内における働く環境の充実	テレワークや生活圏内で働く環境の整備	公的住宅の建替え等におけるテレワーク環境等の整備	・公社住宅に、テレワーク環境や宅配ボックス等の整備（建替え住宅に整備）
48	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	多様な働き方の視点を取り入れた多摩の拠点整備の促進	・多摩のまちづくり戦略に基づき、各自治体によるまちづくりを促進し、個性をいかした魅力ある多摩の拠点を形成
49	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	農地や緑を身近に感じられる働き方の促進	・緑や都市農地の多様な機能等を活用して様々な社会課題の解決や新たな価値創出等を図る、緑と農地、住宅が一体となった「緑農住」まちづくりに向け、区市町村や地域住民など、多様な主体が連携して取組を推進
50	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	農地や緑を身近に感じられる働き方の促進	・比較的まとまった農地や屋敷林が残る地域において、農のある風景を将来にわたり保全するため、農の風景育成地区指定を補助制度等により推進（2030年までに15か所）
51	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	時代のニーズに対応した住宅・住まい方の発信	・コロナ禍後の東京のライフスタイルにふさわしい住宅・住まい方の普及に向け、DX、環境、防災等の住宅の新たな技術に関する情報を収集し、Webサイト等により発信
52	04 徒歩圏内における働く環境の充実	多様な住まい方・働き方等の機会創出に向けた普及啓発	東京こどもすくすく住宅認定制度の活用による良質な住宅の更なる普及	・従前制度を再構築し新たに開始した東京こどもすくすく住宅認定制度を活用して、住戸内のテレワークスペースや共有部のワーキングスペースなどを備えた子育てに配慮された住宅を認定することにより、新たな働き方と子育ての両立が可能な良質な住宅の供給を後押し